

平成 25・26 年度 土木学会 第 1 回複合構造委員会

議事録

1. 日 時：平成 25 年 6 月 20 日(木) 14:00～17:00

2. 場 所：土木学会 講堂

3. 出席者：池田顧問，伊藤顧問，栗田顧問，三浦顧問，島委員長，奥井副委員長，池田幹事長，石橋委員，上田委員，上平委員，大垣委員，大西委員，大山委員，街道委員，加藤委員，金治委員，菅野委員，鬼頭委員，小林委員，齋藤委員，佐々木委員，立神委員，玉井委員，利根川委員，中島委員，中村（光）委員，福浦委員，藤井委員，松田委員，松村委員，三ツ木委員，大久保幹事，齊藤幹事，下村幹事，滝本幹事，西崎幹事，古市幹事，牧幹事，松本幹事，渡辺幹事

(敬称略，計 40 名)

4. 配布資料

- 委1-0 次第
- 委1-1 委員名簿
- 委1-2 第 4 回複合構造委員会（平成23，24年度）議事録（案）
- 委1-3 平成24年度功績賞の受賞
- 委1-4 複合構造委員会組織図
- 委1-5-1 複合構造委員会の小委員会一覧
- 委1-5-2 平成25年度年間スケジュール
- 委1-6 常設小委員会および第 1 種研究小委員会の委員の変更・追加
- 委1-7-1 平成24年度委員会決算
- 委1-7-2 平成25年度委員会予算（案）
- 委1-7-3 平成24年度活動度評価結果・平成25年度予算配分
- 委1-8-1 平成23，24年度第12回複合構造委員会幹事会議事録
- 委1-8-2 平成25，26年度第1回複合構造委員会幹事会議事録（案）
- 委1-9 平成24年度委員会自己評価
- 委1-10 重点研究課題応募結果
- 委1-11 論文集特集号について
- 委1-12 第10回複合・合成シンポジウム準備状況
- 委1-13-1 平成25年度年次学術講演会（研究討論会）
- 委1-13-2 平成25年度年次学術講演会（共通セッション）
- 委1-14 出版関連報告
- 委1-15 社会インフラ維持管理・更新検討TF個別ヒアリング
- 委1-16-1 H101 複合構造標準示方書小委員会
- 委1-16-2 H104 東日本大震災調査小委員会

- 委1-16-3 H105 300年プロジェクト小委員会
- 委1-16-4 H180 FRP水門設計ガイドライン作成小委員会
- 委1-16-5 H206 複合構造ずれ止めの性能評価に関する調査小委員会
- 委1-16-6 H208 FRP複合構造研究小委員会
- 委1-16-7 H209 FRPによるコンクリート構造の補強設計研究小委員会
- 委1-16-8 H210 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会
- 委1-16-9 H211 FRPと鋼の接合方法に関する調査研究小委員会
- 委1-16-10 H212 複合構造物の耐荷メカニズム研究小委員会
- 委1-17 「土木学会の100年」の原稿ご執筆のお願い

5. 議事内容

(1) 委員長挨拶

島委員長より就任の挨拶がなされた。また、池田顧問の功績賞受賞の報告があり、池田顧問より挨拶があった。

(2) 委員自己紹介（委 1-1）

委員の自己紹介があった。名簿の修正については事務局竹原まで連絡をする。

(3) 第4回複合構造委員会（平成23、24年度）議事録(案)確認（委 1-2）

大久保幹事より、平成25年1月30日(水)に開催された平成23・24年度第4回複合構造委員会議事録（案）の確認がなされ、以下の修正の上で承認された。

- ・5頁下から2行目および7頁(17)の功労賞を功績賞に修正する。

(4) 平成24年度功績賞の受賞（委 1-3）

池田幹事長より、池田顧問の功績賞応募と受賞の説明があった。

【審議事項】

(5) 複合構造委員会(平成25、26年度)委員会・幹事会体制（委 1-4, 委 1-5-1, 委 1-5-2）

池田幹事長より、委員会組織図における変更点の説明があった。終了小委員会が複数あることから、新規小委員会検討の必要がある。また、委員会、全国大会、講習会などのスケジュールを確認した。次回委員会は、例年明けであるが早めて12月19日（木）とする。

(6) 常設小委員会および第1種研究小委員会の委員の変更・追加（委 1-6）

池田幹事長より、常設小委員会および第1種研究小委員会の委員の変更・追加について説明があり、承認された。H101において委員追加が議論されているが、後日必要に応じてメール審議とすることが説明された。また、伊藤前委員を顧問に推薦することが提案され、承認された。

(7) 平成24年度委員会決算と平成25年度委員会予算（案）（委 1-7-1, 委 1-7-2, 委 1-7-3）

池田幹事長より、昨年度決算が報告され、今年度予算案について説明があった。昨年度決算においては、実験を行う小委員会において消耗品費が計上されたことが説明された。今年度予算

案については、調査研究費94.6万円の配分があり、未定分の調査研究拡充支援金と合わせて、合計100～120万円の予算となる。これとは別にH180に受託研究費20万円の予算がある。調査研究費は今年度試行の情報発信数に基づく配分であり、29委員会のうち上から10番目の配分額である。委員会内での配分案として100万円と120万円の場合について、第2種研究小委員会への予算配分を原則なしとして、H005編集小委員会とH101示方書小委員会に重点的な配分とし、予備費を多めに見込んだ案が説明された。下記の指摘に対応することとし、予算案については承認された。

(質問) 重点研究課題予算をもらったH105が終了したが決算報告はないのか。

(回答) H105について後日メールにて報告したい。

(8) その他

特になし。

【報告事項】

(9) 幹事会報告 (資料委1-8-1～1-8-2)

斉藤幹事より、平成23・24年度第12回幹事会議事録の報告がなされた。また、池田幹事長より、平成25・26年度第1回幹事会議事録(案)の報告がなされた。委員会の英文HPについて学会英文HPからのリンクがあるとよいとの意見があり、対応することとした。

(10) 平成24年度委員会自己評価 (委1-9)

池田幹事長より、2012年度JSCE2010の実施状況に関する部門別自己評価について、委員会の自己評価を資料のとおり提出したとの報告があった。

(11) 重点研究課題応募結果 (委1-10)

池田幹事長より、重点研究課題応募結果について報告があった。「300年プロジェクトの実現に向けた調査研究」で応募したが不採択となった。採択数は6件中2件であった。

(12) 論文集特集号 (委1-11)

牧幹事より、4月22日開催の論文集特集号編集小委員会臨時会議の報告があった。スケジュールの説明があったが、今年の親委員会開催が前倒しで12月となったので見直すこととする。第1回の招待論文は上田元委員長とし、幹事会の承認および本人の内諾を得ている。投稿要項についてはまだ最終版ではなく、それ以外にも未確定の事項がある。下記の質問への対応も含めて検討・確定していくこととなった。

(質問) 投稿要項(案)の投稿資格に学会会員であることとあるが著者全員か。

(回答) 詳細について検討する。

(質問) シンポ論文と論文集論文は別論文であるとするのか。例えば、同じタイトルであるべきか否か。加筆の上登載を認められたといった位置づけを明示するのか。

(回答) 方針を検討する。

(13) 第10回複合・合成シンポジウム準備状況 (委1-12)

西崎幹事より、11月21日(木)、22日(金)に建築学会運営による第10回複合・合成構造シン

ポジウムが開催されるとの報告があった。申し込み数は最新の情報によると70件（内土木36件）である。特別企画として基調講演が行われる。建築側は竹中工務店の平川氏「阿倍野ハルカス（大阪の300mの超高層）の建設について」であり、土木側についても依頼があった。候補者の案を池田幹事長に伝えることとなった。また、前回より表彰制度が設けられており、今回より土木学会論文集特集号への掲載が可能となる。シンポへの参加が要請された

(14) 平成25年度全国大会（研究討論会、共通セッション）（委1-13-1, 委1-13-2）

松本幹事より、研究討論会について報告があった。「土木構造物の持続性を考慮した300年プロジェクト」のタイトルで準備をすすめている。宣伝・参加が要請された。

池田幹事長より、共通セッションについて報告があった。36編投稿があり、複合構造物は5セッション開催される。9月5日（木）午前に2セッション、6日（金）には午前2セッション、研究討論会をはさんで午後に1セッションの時間割となる。参加が要請された。

(15) 出版関係報告（委1-14）

大久保幹事より、出版関係の報告があった。委員会の出版図書収支は黒字である。3月にシリーズ05, レポート05と06で10部前後の売上があった。今年度の出版予定として、H104とH210があり7月31日（水）に講習会が開催される。H211は出版企画書を作成中である。

(16) 社会インフラ維持管理・更新検討TF個別ヒアリング（委1-15-1, 委1-15-2）

池田幹事長より、社会インフラ維持管理・更新検討TFによるアンケートとヒアリングについて資料の内容で対応を行ったとの報告があった。

(17) 小委員会報告（資料委1-16-1～1-16-10）

(H101) 複合構造標準示方書小委員会

中島委員（小委員会委員長）より報告があった。体制、構成（設計編、施工編、維持管理編）、各編内容について説明があった。今年度末までに原案作成、来年度に意見照会と最終案作成、平成27年度に発刊・講習会の予定である。以下の質疑があった。

（質問）合成床版の耐久性確保は難しいがどのように考えているか。

（回答）目指すところは他の部材と同様の寿命を考えているが、必要に応じて将来検討をしていく。

(H104) 東日本大震災調査小委員会

滝本委員（小委員会連絡幹事）より報告があり、報告書原稿が回覧された。幹事会の査読結果に基づき修正中であり、7月初に原稿提出、7月31日（火）にH210との合同講習会が開催される。講習会への参加要請があった。

(H105) 300年プロジェクト小委員会

古市幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。3月に活動期間を終了し報告書を学会に提出した。HPにて公開されるとともに、研究討論会の資料としてもCDに収録される。上田委員（小委員会委員長）より、今後の活動については研究討論会での議論などを踏まえたいとの発言があ

った。

(H180) FRP 水門技術ガイドライン作成小委員会

西崎幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。構成案審議と原案審議を経て現在修正作業中である。今後は、7月24日（水）に最終審議を行い、8～9月幹事会査読、10月親委員会意見照会、2月発刊・講習会を予定している。また、人事異動に伴う委員の変更の説明があり、承認された。

(H206) 複合構造ずれ止めの性能評価法に関する調査研究小委員会

中島委員（小委員会委員長）より報告があった。2期目最終年度であり、試験の実施、EASEC-13でのセッション企画・発表、複合シンポでの発表を行う。報告書の準備をすすめる。

(H208) FRP 複合構造研究小委員会

松本幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。部分安全係数に関する実験データの収集を行っており、示方書小委員会のFRP検討WGとの連携を図っている。

(H209) FRP によるコンクリート構造の補強設計小委員会

西崎幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。H24年7月から第2期に入っており、WGでの活動をすすめている。

(H210) 複合構造を対象とした防水・排水技術研究小委員会

大西委員（小委員会委員長）より報告があり、報告書原稿が回覧された。幹事会による報告書査読結果の修正は済んでおり、今後は原稿提出と7月31日（火）にH104との合同講習会がある。複合シンポでも成果を発表する。以下の質疑があった。

（質問）防水層の耐久性は検討しているか。

（回答）鋼構造委員会で検討された内容を踏まえている。

（質問）経年防水層の作り替えも対象としているか。

（回答）新設だけを対象としている。

(H211) FRP と鋼の接合方法に関する調査研究小委員会

大久保幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。最終小委員会を終了しており、報告書と講習会について審議を終えている。9月中頃に報告書完成、11月に講習会開催を予定している。報告書は2分冊も検討されたが、1冊でまとめることとなった。三ツ木委員（小委員会委員）より研究テーマ②において「鋼連結板による」という対象の限定はしないこととなったとの補足説明があった。

(H212) 複合構造の耐荷メカニズム研究小委員会

牧幹事（小委員会連絡幹事）より報告があった。これまで3回開催しており、共通認識を深めるようにしている。材料種別に依らない汎用的な検討を目指している。

(18) その他（委 1-17）

池田幹事長より，以下の依頼・案内があった．

- ・学会からの「土木学会の 100 年」の原稿執筆依頼について説明があり，委員会の歴史などの執筆について協力依頼がなされた．
- ・メール審議について協力依頼がなされた．
- ・次回の委員会は 12 月 19 日（木）に開催予定である．

(19) 閉会の挨拶

奥井副委員長より閉会の挨拶があった．

以 上
(記録・文責：松本高志)